# 東由利村報

No.159　1970・11・1

発行　秋田県東由利村役場　印刷　KK本間印刷所

毎月1日発行（1部8円）昭和42年7月21日第三種郵便物認可

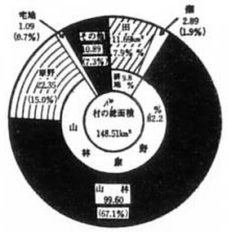

**世帯と人口**

| | |
|---|---|
| 世帯数 | 1.588世帯 |
| 人口 | 7.329人 |
| 男 | 3.622人 |
| 女 | 3.707人 |

前月に比し世帯は同じ
人口は2の増

**財政**

| | |
|---|---|
| 一般会計 | 335,538千円 |
| 特別会計 | 88,866千円 |
| 内訳 国保 | 86,106千円 |
| 内訳 黒診 | 792千円 |
| 内訳 簡水 | 1,400千円 |
| 内訳 玉財 | 366千円 |




# 文化の日に四氏
## 晴れの村功労者

ことしの村功労者がきまり十一月三日の文化の日に表彰されることになった。

村表彰者選こう会（小野広志会長）では、十月五日、選こう会を開き、ことしの村功労者に、戦時下に玉米村助役として、また生涯を作曲と指揮活動により足跡をしるされた、郷土の人、故、小松平五郎氏。教育施設の充実につくされた、故、畠山ヨネ氏。下郷村農業会副会長、下郷村議、東由利村教育委員長などを通じ、地道に村政の進展につくされた、小野繁記氏。老方国民学校長に

故　小松平五郎氏

故　畠山ヨネ氏

小野繁記氏

菊地三男氏

はじまり、秋田県校長会長に立教大学交響楽団を創設、指揮者。帝国美術学校（現、芸大美術部）講師などをつとめ活躍した。また、大日本音楽家協会、大日本音楽協会理事として活躍し、著名な作曲に「慶応讃歌」「快走船と魔窪二」一六・本村館合出身・遺族、小松種子氏）「人間礼讃」「神々の失望」など著書に「模範音楽辞典」がある。玉米村助役就任中には、村勢の伸展につくされるかたわら、玉米小学校々歌・玉米小唄・由利小唄・ハタハタ音頭など郷土の詩情を五線譜に託し紹介した。（東京都杉並区西荻

**故、畠山ヨネ氏**　玉米村長

**菊地三男氏**　昭和二十一年二月から四カ年二月、老方国民学校長をつとめ、新教育の実施普及、祝沢分校を中心としたへき地教育、第五区振興情操教育、視聴覚教育、高校分校設立に努力するかたわら地域の文化活動を指導〝世界音楽の夕べ〟を四回にわたり開催した。昭和二十八年四月から四カ年の県教育庁指導主事、昭和三十九年四月から三カ年の秋田市保戸野小学校長・秋田県校長会長・秋田県音楽教育研究会長として、県都にあり、全国音楽教育研究会秋田県大会を開催するなど、音楽教育に大きな足跡をした。昭和三十五年十一月、秋田県教育功労賞受賞。（秋田市保戸野八丁一四ー二五・本村館合出身）

**たばこ　は　村内で**

県議会議員として活躍した夫君、三郎の志を継ぎ、地域、袖山小学校への長年の財政援助を惜しまず、ことに教育施設の充実に寄与した。また戦時下の地域婦人団体活動を指導した。（本村田代字袖山二〇・遺族畠山正氏）

**小野繁記氏**　現農業協同組合の前身、農業会長、農会副会長の職に、通算約二十年間在職。農地委員と農業委員三期五年をつとめて農政を指導大正十年から下郷村議を二期八年間、また新村東由利村誕生にあたっては、合併審議会委員をつとめて、よりよい郷土実現に力をつくした。昭和三十二年からの教育委員長在任中には教職員の勤務評定が実施されたが、もちまえの一方に偏さない言動により、比較的平穏のうちに行なわれるなど、地道ながら村政に貢献をした。（宿字幅野二九）

# 器具は正しく使おう
## 15日から秋の火災予防運動

あぶない　消し忘れ　切り忘れ

この統一標語による、秋の火災予防運動が十一月十五日から同二十一日まで全県一せいに展開される。

この火災予防運動は、火災の多発期をむかえ、県民一人一人が防火意識を高めるとともに、日常生活での適切な火気使用と器具の管理を知って火災発生を防止し、人命安全の対策を考える機会をねらいとして行なわれるものである。

運動の重点事項は①たばこの投げ捨てと寝たばこの防止であり、そのため▽たばこは吸いがら入れのある安全な場所で吸う▽マッチたばこは完全に消してから吸いがら入れに入れる▽ガソリンなど引火しやすい危険物のあるそばでたばこは吸わない▽寝床の中でたばこを吸わない。

②暖房器具の正しい取り扱いであり▽器具の正しい使用法を覚える▽器具の使用前後は、かならず点検を行なう▽器具はいつも整理整とん。とくに紙くずなどの燃えやすいものがないように▽使用中の給油や移動をしない▽外出、就寝時には完全に消す。

③旅館、ホテルでの設備と訓練である。

### 救急車のサイレン　ピーポー音に変る

十月十五日から救急自動車のサイレンが、ピーポー音に切りかわった。

これは交通事故や各種災害事故が激増し、救急自動車の出動回数がふえ、救急自動車と消防自動車が同一音を発するサイレンでは、火災のときの消防団員の参集活動に支障が出はじめたためである。

ただし当分の間いままのサイレンを併用することもある、というから留意のこと。

### 珠算で四君が表彰

全国珠算教育連盟秋田県支部主催の、第八回秋田全県珠算競技大会は、十月十八日、秋田経済大学古田講堂で開かれたが、これに先だち、模範珠算学習生徒の表彰式が行なわれ、本村関係では、老方小学校六年の赤川真理子（横小路）同、小野貢（湯出野）蔵小学校六年の大庭優子（蔵）同、阿部芳朗（横渡）の四君が表彰された。

### 納税者の声どうぞ

十一月一日から十日までは「納税者の声を聞く旬間」として、国税庁、国税局をはじめ全国の税務署で、いろいろの行事が行なわれます。

この旬間のねらいは、各種の行事を通じて、税金に対する苦情や要望、職員の態度などについて、広く納税者の声を聞き、税制や税務行政の運営面に反映させるとともに、税務署の仕ごとの内容を理解してもらうことにあります。

この機会に、税金について卒直な意見や要望を聞かせてください。

### 年賀はがき発売

年賀はがきが十一月五日発売になります。お買求めは早目にお願いします。年賀はがきの引受けは十二月十五日から始まり、早期差出しが元日配達につながりますので、いまから住所録の整理をしておきましょう。また郵便番号は差出人、あて先の両方に忘れないで記入してください。【老方郵便局】

### 子らを健やかに　青少協に世話人

子どもの〝だいま〟という帰宅の声が、いわば校外生活がはじまった合図である。子どもは親の子どもであると同時に、社会の子どもであり、その健やかな成長は社会全体のねがいである。

そこで、子どもたちが交通事故や悪い遊びにそまらないように見守る、世話人の組織を、青少年問題協議会の中につくって、村内全部落にお願いし、子どもといっしょに話合い、相談にのってもらうこととした。〝すこやかに伸びよう、伸ばそう青少年〟が、実を結ぶよう期待されている

**青少協世話人のなまえ**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 横渡 | 阿部長一郎 | 蔵 | 斎藤治三郎 |
| 蔵新田 | 阿部久孝 | 黒沢 | 小松善次郎 |
| 新町 | 杉江孝子 | 横小路 | 赤川菊子 |
| 上通 | 藤原陽太郎 | 下通 | 長谷山誠明 |
| 祝沢 | 小野喜一 | 野田 | 遠藤正男 |
| 新処 | 工藤二三雄 | 〃 | 工藤実 |
| 小倉 | 遠藤荘二郎 | 大琴 | 大庭要二 |
| 大日向 | 澄子 | 〃 | 佐々木泊漠 |
| 下吹 | 畑山清一 | 大台 | 石綿徳市郎 |
| 沼 | 鈴木茂 | 中ノ沢 | 工藤惣一郎 |
| 舟木 | 長谷山二郎 | 家ノ下 | 八島与四三 |
| 下小路 | 大坂昭平 | 八日町 | 佐藤豊 |
| 山崎 | 小松淳子 | 板戸 | 石橋一郎 |
| 松柴 | 高橋アイ | 〃 | 小松義嗣 |
| 高戸野 | 小松慶治郎 | 小松 | 長谷川毅 |
| 須郷田 | 長谷山英士 | 時両山 | 高畠山富男 |
| 石高 | 畠山基保 | 袖山 | 畠山与一 |
| 地下沢 | 佐藤文敬 | 黒淵 | 芦田寿 |
| 分高校 | 笹本信也 | 東由中 | 伊藤英夫 |
| 〃 | 阿部清治 | 住吉小 | 土田誠一 |
| 袖山小 | 玉米小三浦哲雄 | | |
| 老方小 | 石川盛一 | 蔵小 | 斎藤貞治 |
| 法内小 | 佐藤市右工門 | 宿小 | 藤本光喜 |

**由利の首脳が額を**

しようと、六日から三日間じっくりと町村視察を行なった。

行程中、本村に入ったのは六日午後からであり、本村小松村長は先頭に立って村を案内、ことに基幹林道―法内―坂部を経路に、国道三線（一〇五、一〇七、一〇八号線）と結ぶ貝殻路線の整備を、広域的に解決したいと現地で提唱した

【本荘、由利の各市町村長に貝殻路線を説明、国道と地方道を結んで、由利の広域流通と広域観光にと村長＝法内野田附近の路上で】

故　阿部直一郎氏

## 故阿部直一郎氏に叙勲
### 勲六等単光旭日章に

前村長、東由利農業協同組合長、本村農業委員会長、秋田県農協中央会理事、秋田県農業会議副会長らの職をとおし、郷土の進展のため活躍した阿部直一郎氏は、九月十一日、病床に倒れたが、その生前の功績に対し、勲六等に叙せられ、単光旭日章の栄誉がおくられた。

同氏は昭和三十四八月から八年間、東由利村長の職にあって、村発展の基礎づくりに意欲的にとりくんだ。

なかでも、交通通信施設の充実にはとくに意を注ぎ、主要村道の整備、橋の永久化を促進し、産業経済の伸長は近隣市町村への広域路線網の拡充が必要であると考え、関係市町村と提携して、国道一〇七号線の急速な近代化と、県道路線の改良整備のためほん走した。そのかいあって昭和三十七年には、老方―沼館線三十八年には蔵―大曲線の県道認定を成しとげた。

かたわら村内無電話の一三部落、無電灯の七部落に対しては施設導入の必要を痛感、関係機関に強力に働きかけて昭和四十一年までに解決した。

また、昭和三十五年には由利組合総合病院の出張診療所を大琴地区に招致、つづく三十七年には同病院を親病院と隣市町村への広域路線網の拡充が必要であると考え、関係市町村と提携して、国道一〇七号線の急速な近代化と、県道路線の改良整備のためほん走した。そのかいあって昭和三十七年には、老方―沼館線三十八年には蔵―大曲線の県道認定を成しとげた。

かたわら村内無電話の一三部落、無電灯の七部落に対しては施設導入の必要を痛感、関係機関に強力に働きかけて昭和四十一年までに解決した。

また、昭和三十五年には由利組合総合病院の出張診療所を大琴地区に招致、つづく三十七年には同病院を親病院と隣市町村への広域路線網の拡充が必要であると考え、関係市町村と提携して、国道一〇七号線の急速な近代化と、県道路線の改良整備のためほん走した。

同氏が村の産業振興に寄せた情熱はすさまじく十年、第一次農業構造改善事業に着手、画期的な土地改良を行なうとともに、農業経営の近代化のため、畜産、酪農の振興策に腐心し、共同放牧場のほか関連施設の整備や、養蚕事業の助長と安定のために施設における、協業化体制のモデルケースを養成した。

そのほか同氏は、昭和二十六年来、本村農業委員会長の職にあり、同四十二年からは県農業会議副会長。中央部農協長に引続く、東由利農協長に在職十九年余をつとめるなど、村内外にたり農政の刷新と進展に努力した。

### 両農協長かわる

東由利農協長、阿部直一郎氏の死去にともなう農協長後任人事は、佐々木宇一郎氏（大琴）と決った。

また、玉米農協長小松常太郎氏の病死にともなう、後任の組合長には、畠山誠一郎氏（袖山）が選任された。

### モミがら焼きは　人家をはなれて

秋の収穫作業も終りモミがら焼きが始まりますが、作業は人家から離れてしてください。のが痛い、火災の危険があるなど、近所めいわくにならないよう注意を。

昭和42年7月21日第3種郵便物認可

# 東由利村報

昭和45年11月1日　第159号

山村開発センターつくって……

# 研修・いこいの場に

## ほ場整備 農業振興にも意欲

過疎地域振興計画をめくると、村道の改良をいまの倍以上に達させる。小学校を現七校から二校ていどに統合させる。水泳プール六つをつくる。中央公民館を建設する。水道を新設して布設率を九〇㌫台に達させる。村民のいこいの場・休養の場・研修の場にふさわしい山村開発センターを建設する。生産性の高い稲作をめざし、ほ場整備を進めるなどの、若干、大盤振舞気味な内容がボンボン飛びこんでくる。しかし述べられている計画のどれもが、都市との生活格差を物語っており、この解消なくしては、とうてい過疎からの脱出はのぞむべくもない。われわれ住民の総力を結集した、前進への姿勢が要求されるゆえんである。

表、村内道路の現況にみると、おり、村道の整備水準の低さが目につく。

昭和五十年をメドに土場線五㌔、跡見坂線ら三㌔、下吹線四四〇㍍、軽井沢線六㌔を、それぞれ道幅四㍍に改良する。

これと平行して牡丹野橋四〇㍍・下吹橋一六㍍・地下ノ沢橋四〇㍍・久保橋二五㍍・向田橋二五㍍を幅員四㍍で、それぞれ永久橋化し集落間の交通利便を増進させる（これにより改良状況は現在の二倍以上となる）。

また今年度には除雪車一台を補強。現有力とあわせて冬のバス路線確保はもとより、主要村道の除雪に力をいれる

### 小学校は二校にスクールバスが足

村内七校の小学校児童数は現在の八一三人から、四十九年度には五七三人に減少する。また、現校舎中の危険面積は四七㍍に達している。①したがって小学校を村内二校ていどに統合させ、規模の適正化と設備内容の充実により、教育効果の向上をはかる必要がある。また、小学校統合にともなう最大の心配事は、遠距離児童の通学対策であるが、これにはスクールバス四台を主要路線に通年配置して、通学の利便をはかる。

②中学校校舎の建築は四十四年度の一期工事。四十五年度の二期工事、さらに四十六年度には三期工事として、体育館と九〇人収容の通年寄宿舎を建設する。③教員住宅は現有施設を整備するかたわら中学校附近に校長住宅一棟を建築する。④中学校それに小学校が、それぞれ統合する時期を見はからい、給食センター一棟を建設、学校児童生徒の完全給食を行なう。⑤水泳プールは台山地区二か所、住吉、玉米、蔵、宿地区に各一か所をメドに建設。河川水域の汚染などから児童を守り、体育の向上をめざす。⑥老方地区に中央公民館を建設してとくに産業と家庭生活向上のための、教育設備の充実に力を注ぐ。また住民生活に密着した活動を展開するとともに各種資料、図書室、体育館兼用の大ホールをつくり生活文化の向上をはかる。

### 水道は九〇㌫台に ごみ処理も検討

本村の水道普及率は、わずかに二三㌫と、郡内でも最も立遅れている。現在、水源確保の調査を進めているが、給水人口四、〇〇〇人を目標に村内主要集落に布設して、普及率を一きょ九〇㌫台に達させる。②児童福祉対策として青少年の、健全育成事業を推進するとともに、環境づくりのために、約七〇世帯単位の主要集落に、小型児童館五つを計画、毎年一館ずつを目標に設置する。③消防施設の水準を高めるために、中心分団に消防自動車一台を配備。また由利地域広域市町村圏で広域的に行なう計画である。またどに統合させ、規模の適正化と設備内容の充実により、教育効果の向上をはかる必要がある。また、小学校統合にともなう最大の心配事は、遠距離児童の通学対策であるが、これにはスクールバス四台を主要路線に通年配置して、通学の利便をはかる。

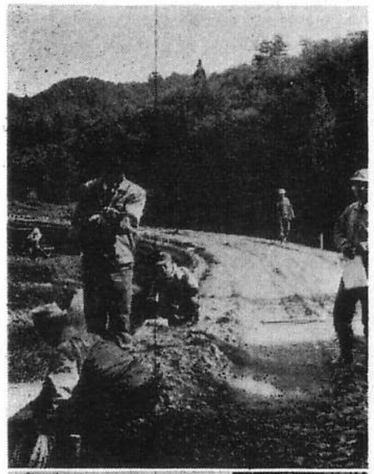
②中学校校舎の建築は四十四年度の一期工事。四十五年度の二期工事、さらに四十六年度には三期工事として、体育館と九〇人収容の通年寄宿舎を建設する。③教員住宅は現有施設を整備するかたわら中学校附近に校長住宅一棟を建築する。④中学校それに小学校が、それぞれ統合する時期を見はからい、給食センター一棟を建設、学校児童生徒の完全給食を行なう。⑤水泳プールは台山地区二か所、住吉、玉米、蔵、宿地区に各一か所をメドに建設。河川水域の汚染などから児童を守り、体育の向上をめざす。⑥老方地区に中央公民館を建設してとくに産業と家庭生活向上のための、教育設備の充実に力を注ぐ。また住民生活に密着した活動を展開するとともに各種資料、図書室、体育館兼用の大ホールをつくり生活文化の向上をはかる。

### 水道は九〇㌫台に ごみ処理も検討

本村の水道普及率は、わずかに二三㌫と、郡内でも最も立遅れている。現在、水源確保の調査を進めているが、給水人口四、〇〇〇人を目標に村内主要集落に布設して、普及率を一きょ九〇㌫台に達させる。②児童福祉対策として青少年の、健全育成事業を推進するとともに、環境づくりのために、約七〇世帯単位の主要集落に、小型児童館五つを計画、毎年一館ずつを目標に設置する。③消防施設の水準を高めるために、中心分団に消防自動車一台を配備。また由利地域広域市町村圏で広域的に行なう計画である。また

村内道路の現況

| | 道路延長 | | | 永久橋 | | 木橋 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 舗装 | 未舗装 | 計 | 橋数 | 延長 | 橋数 | 延長 |
| | km | km | km | | m | m | m |
| 国道 | 16.0 | 0 | 16.0 | 10 | 148 | 0 | 0 |
| 県道 | 2.2 | 35.4 | 37.6 | 8 | 152 | 19 | 180 |
| 村道 | 0.3 | 164.5 | 164.8 | 38 | 468 | 50 | 507 |



計画により、はやくも村道整備が（下吹線で）

水道もいよいよ実地測量にはいった（牧山で）下、大ボツメキ水源はすばらしい湧水が日産千二百トン台。

## 過疎からの脱出

## 電気の安全知識

# 感電事故なくそう

おそろしい感電事故を起さないために、▽しろうと工事は絶対やらない▽湿気の多いところでは洗たく機を使わない▽ぬれ手でソケットをひねったり、ほかの電気器具にふれたりしない▽テレビアンテナを移動し、屋根へのぼったときは頭の上に電線がないかを確かめ、もし電線にふれるようなおそれのあるとき▽電線が切れてたれさがっているとき▽電線がたるんで雨といや屋根にふれているとき▽木の枝が電線にさわっているときや、風でさわりそうなとき。ふれず、近くの東北電力事業所へ知らせてください。▽家を新築したり修理のため、屋根へのぼったときは、たり修理をするときは、ふきんの電線に倒さぬよう注意する。

つぎの場合には絶対手を

## 同じ会社に毎年

過疎条件優遇

### 出かせぎ相場は7万円

秋のとり入れが進むにつれ、ことしも、出かせぎシーズンの訪れを感じさせるが、本村では十月一日本荘職業安定所の協力により、安全な職場を開拓しようと出かせぎ求人説明会を、出かせぎ希望者約二〇〇人、求人側から二〇〇人、はトヨタ自工ら五社が出席して開かれた。

ことしの賃金相場は、残業三〇時間で月額七万円台。ただ各社とも、初年就労よりも二年、三年と例年、同一工場に就労する従業員が優遇される賃金内容であった。

この日の説明会に参加した企業は、トヨタ自工・愛知機械・ホウトク金属・いぬい建設・東海棚抱の五社。各企業はそれぞれ持ち時間内に求人内容を説明、そのあと企業と出かせぎ希望者が直接、就労契約を交わし、約四〇人が就労先をきめた。

またこの日、村では、つぎのような呼びかけをした。

今春、出かせぎの方が帰省した頃合いを見計らって、反省会を開いたが、そのときの話合いが生かされてこそ、健全な出かせぎがありうるというもの。まず長年の経験から出かせぎはグループで、との声が多かった。その理由として、単身就労の心細さが救われる。企業に対し待遇改善を迫りやすい。郷里との連絡が便利になるなどの有利さをあげている。

また当時、草案の域を出なかった〝秋田県出かせぎ互助会〟も、出かせぎ者一人二〇〇円会費で（村でも一人につき二〇〇円を出費）就労先での死亡には三十万円。一か月以上休んで医者にかかったときには三～五万円。留守宅火災には五万円などの見舞金や賃金不払いにあったときの立替金を骨子に活動することとなった。出かせぎに行くときには、必らず会費を納めてから、にすべきである。

### 出来秋に 前納を

国民年金保険料

### あなたの老後は

サラリーマンは、厚生年金ほか各種の共済組合に加入していますが、その会社や工場をやめた場合には、国民年金に加入することとなります。

国民年金は、老後や障害または母子家庭、みなし児となったとき、その生活を守ってくれます。

国民年金制度は、ほかの年金制度のように、職場ごとの加入ではありません。加入しようとする人それぞれが役場に加入手続きをします。

国民年金に加入できる人は二〇歳から五九歳までの、他の公的年金制度に入っていない人が対象であり、また公的年金制度に加入している方の妻となっています。そして加入した方は、毎月一律四五〇円の保険料を納めます。しかし、私は多額の年金給付を受けたいから、もう少し保険料を納めさせてくれ、という方には、毎月三五〇円の附加保険料を納めていただきます。

また、この制度の特長は、お金の価値の変動に対処して五年に一回、その時勢に見合う年金給付がされるように、仕組まれてあることです。

難儀して納め続けた保険料が、いざ貰うころにはアメ代にもならなかったという、正直者が馬鹿をみないようになっている、ということです。

### 稲作では基盤整備 副業の環境づくり

①稲作では土地改良事業を積極的にし、現在の小場整備率一三㌫を、昭和四十九年度末まで五五㌫ていどまで進めるとともに、機械化による共同利用の集団生産組織を育成するなど、生産性の高い稲作経営の確立につとめる。②畜産の振興。いまの改良草地面積一九二・五㌶を、徹底した肥培管理により増収をめざすとともに、未利用原野の活用で草地開発を進める。またいまの放牧場の運営管理を改善して、多頭飼育農家の育成をはかる。③養蚕では、現在の桑園面積をさらに拡大造成の方向をめざす。また農業構造改善事業実施にともない組織されている、生産五集団の経営拡大を促進するとともに、一般農家でも、農閑期には副業養蚕ができるようにする。④葉たばこ栽培では、稚苗の共同育苗、乾燥施設の導入などで、省力化できる生産団地形成に取り組む。⑤林業振興では、昭和四十四年度から実施している林業構造改善事業を主軸に、未利用林野の高度利用を進めるとともに、民有公有林野の人工林率を、いまの三三㌫から七五㌫を目標に進める。と同時に林道整備に力をいれる。また基幹的林道である金山線は、県が改良整備する。特殊林産物では、栗の生産団地形成を目標とし、いまの栽培面積三一㌶を、さらに拡大、量産ができるようにする。⑥山菜などは、現在個々が販売している形態から一元集荷に改善し、質・量ともに市場性に富む販売体制をつくる。⑦商工業の振興では既存企業の育成強化に相まって、本村に適した企業誘致を積極的に進め、地域住民の雇用機会の拡大に努力しなければならない。

### へき地集落移転に 補助や通勤路優先

村の周辺山地に点在する二～三戸ていどの集落は、日常生活に多大な不便を感じているが、さて移転の問題となると、そこに住む住民の選択であり決意にまつ以外にない。とはいえ村としては▽移転あと地は、希望するなら宅地農地とも村が買上げる。▽移転する方の住宅は個人建設とするが、補助金として一戸に五十万円出す。また通勤農業がやりやすいように、そこへの道路整備は優先的に行なう、などを掲げ積極的に相談し合って、昭和五十年までには四集落八戸の移転を目標としている。

### 秋の造林完成報告 十一月十日までに

一般造林事業の補助申請をする期限は十一月十日ですから、植えつけ完成報告は、その期限前に森林組合あて提出してください。

なお、用紙は森林組合にありますから、印鑑を持参して手続きのほどを。

### 出かせぎシーズン 村報の送り先を

移動村民室ほか住民の声として必ず登場するのが、出かせき先にもれなく村報を、ということである。

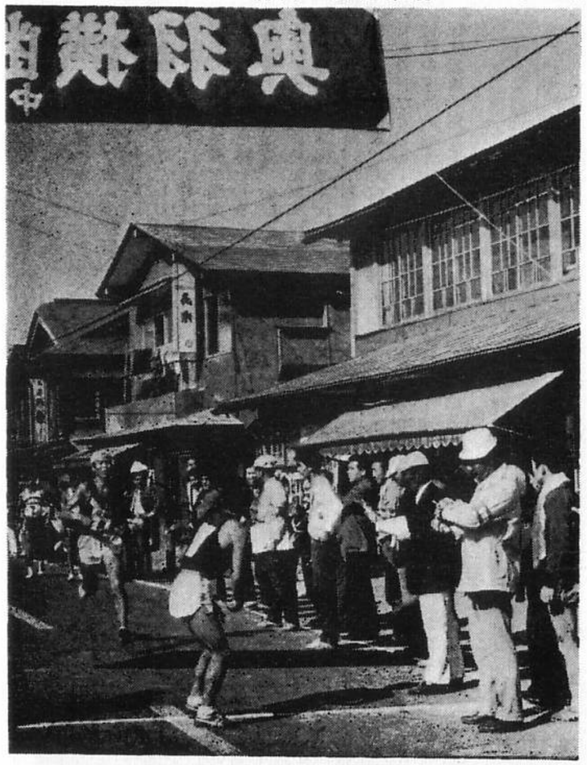
村としても、一家の主柱に村政の動向を知らせ、理解を切望しているのであり、昨年まで毎月五〇〇部を送っている。しかしそのうち、七～八〇部は、転居先不明で返送されており、職場を変えた場合にはぜひ一報がほしい。

## 青空のもと力走

第一〇回奥羽横断駅伝競走大会は、秋田・岩手両県教育委員会らが主催、国道一〇七号沿線の町村が協賛して、十月二十四日から二日間、本荘―横手―北上間一二六・六㌔のコースで競われた。

参加一一チームは、すみきった秋空のもと元気いっぱいに力走、沿道をうずめた観衆は、用意の小旗をふって声援をおくった。

（写真）大琴中継点を一位で通過する盛岡市体協。



## 今月の行事

**1日**
- 納税者の声をきく旬間10日まで
- 村税の年末納税強調月間12月25日まで

**2日**
- 沼、高村冬期分校開校式
- 農村婦人健康相談室を開設、蔵小で
- 教育文化週間7日まで

**3日**
- 村功労者表彰式10時から役場で
- 公民館主催の生活文化祭、蔵小、永慶保育園で4日まで

**4日**
- 教育委員会々議午後から役場で
- 叙勲伝達式10時役場
- 年賀はがき発売

**5日**
- 小学校問題調査会々合

**6日**
- 午後役場で
- 青少協世話人会午後から役場で

**9日**
- 民生委員会議午前役場

**10日**
- 青少協幹事会午後役場

**15日**
- 秋の火災予防運動週間

**21日**
- 寄生虫病予防運動30日まで

**25日**
- 老人クラブ会長会議午後から役場で